

講義科目／Course Title	健康と社会の仕組みⅢ（情報危機管理）
担当教員／Instructor	非常勤講師・船倉 武夫（非常勤）
時間割コード	B14000ZA0
開講期／Semester	2025 年度／Academic Year 春学期
曜日時限／Class Period	水/Wed 2
学部・学科	看護学部看護学科／Faculty of Nursing, Department of Nursing
年次／Eligible Grade	1 年 , 2 年 , 3 年 , 4 年
単位数／Credits	2.0
教室／Classroom	1 2 0 1
オフィスアワー／Office Hours	船倉 武夫(講義終了後、講義室にて質問を受け付ける)
授業の概要 ／Course Description	千葉科学大学のネットワーク環境のもと、大学推奨 PC を活用しながら、IT 社会における情報収集・加工発信と情報管理の具体的方法を教授すると共に、情報管理と倫理的問題へも言及する。 ※ パソコンを使用した情報の、読み・書き・計算・話す・聞く・見る を学ぶ。
到達目標 ／Course Objectives	情報リテラシーは、危機管理の素養における一つの力である。コミュニケーション能力は、現在のツールは、ICT (Information and Communication Technology) であり、「情報とコミュニケーション技術」として、次を身につけることが不可欠である。 1. 大学ネットワークを使い、各種の情報資源を使える。 2. そのためにノート PC を活用して、プレゼンができる。 ※ コンピュータ、インターネット等を利用した情報システムを使いこなすことは、今や大学における教育研究に必須のものです。本学における学習に必要な情報ツール（大学メール・ポータルサイト・文書作成・プレゼン・表計算）の基本的な利用方法を身につけることが具体的な目標です。 DP1 対象となる人を全人的に捉え、科学的根拠に基づいた看護実践能力 DP3 人々の安全・安心な健康生活を守るための危機管理能力
成績評価と基準・課題のフィードバック方法 ／Evaluation and Grading・Feedback method	成績評価は課題（15 回）75%と、定期試験 25%にて行う。 0. 課題も試験もペーパーレスであり、成果（ファイルとメール）で評価する。 1. 毎回、課題（作品）を提出すること。 2. 大学メール（学生番号@cis.ac.jp）が利用できるようになったら、メールを利用して問合せ（相談）に応じる。 3. 授業時間内に完成しない場合、遅れて提出することも認める。 4. eラーニング教育システム（CL）が利用可能する場合、一緒に学習している友人の提出課題が閲覧できるようになる。
履修上の注意 ／Course Policies and Expectations	ノート PC が大学ネットワークにつながらない、メールが送信できない、PC が立ち上がらないなど、いろいろなトラブルはインターネット利用では常におこります。もしそのようなことがあっても、それを乗り越えるのがリテラシーです。 授業内でできなくても、次週までは提出を常時受け付けます。 やむ得ない事情で欠席や提出できなかった場合、その内容をメールで連絡すれば、個別に配慮してそれぞれ指示をします。 MOS に合格した場合、報告すれば、成績評価において加点する。
教科書／Textbooks	情報リテラシー Windows 11 / Office 2021 対応 定価 2,200 円（本体 2,000 円）ISBN コード 978-4-938927-53-0 仕様 B5 判 484 ページ FOM 出版
参考書／Reference Books	MOS（モス） <a href="https://mos.odyssey-com.co.jp/index.html">https://mos.odyssey-com.co.jp/index.html</a>
備考 ／Notes	キーワード Word Excel MOS MOS とは、Office の操作スキルを証明する試験で、みなさんは「Word」「Excel」が対象である。試験会場のパソコンを使って操作し、ファイルを完成させると、その場ですぐに合否が判定される。就職活動では、エントリーシートに記載しアピールできる なお、世界共通の資格試験である点も魅力的である。 科目ナンバリング： <a href="http://www.cis.ac.jp/~kyoumu/course/index.html#6">http://www.cis.ac.jp/~kyoumu/course/index.html#6</a>

No.	回数 / Times	授業計画 / Course Schedule	学 習 方 略 / Str ategi es fo r Le arnin g	授業外学習 / Self Study	担当 / In stru ctor s
1	1	情報リテラシーを学ぶための初等的な数理論理的基礎力調査、または、大学指定PCの初期設定。(持ち込みPCの場合は、大学ネットワークへの接続などをカスタマイズ)	演習A (L)	予習：ネットワーク利用(コンピュータネットワークの基礎 WWW の情報検索・閲覧 ほか) を自習しておくこと。(120分程度) 復習：ネットワーク利用(コンピュータネットワークの基礎 WWW の情報検索・閲覧 ほか) を自習しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
2	2	情報リテラシーを学ぶための初等的な数理論理的基礎力調査、または、大学指定PCの初期設定。(持ち込みPCの場合は、大学ネットワークへの接続などをカスタマイズ)	演習A (L)	予習：パーソナルコンピュータの基礎を自習しておくこと。前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：パーソナルコンピュータの基礎を自習しておくこと。今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
3	3	大学ネットワークを用いた発信・受信メールの文章 ローマ字入力 of 構造	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
4	4	学術情報(文献検索) 講座 教育システムの実体験を行う	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
5	5	ネチケット=ネットワーク+エチケット+セキュリティの講座	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
6	6	文章作成ツール(ワード)のデータ入力・出力を学ぶ(PDFファイル作成を含む)	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
7	7	文章作成ツール(ワード)の技法を学ぶ(書式スタイルに配慮した文章入力)	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
8	8	文章作成ツール(ワード)の技法を学ぶ(IMEパッド、数式エディタなどの)	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫
9	9	文章作成ツール(ワード)の技法を学ぶ(定型文・チラシを作成)	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度) 復習：今回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。(120分程度)	船倉 武夫

No.	回数 / Times	授業計画 / Course Schedule	学 習 方 略 / Str ategi es fo r Le arnin g	授業外学習 / Self Study	担当 / In stru ct ors
					夫
10	10	文章作成ツール（ワード）の技法を学ぶ活用（文章の校正から仕上げ）	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度） 復習：今回の課題を、次回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度）	船倉 武夫
11	11	計算ソフトでのデータの入力・出力を学ぶ	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度） 復習：今回の課題を、次回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度）	船倉 武夫
12	12	計算ソフトでのデータの入力・出力を学ぶ	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度） 復習：今回の課題を、次回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度）	船倉 武夫
13	13	計算ソフトでのデータの入力・出力を学ぶ	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度） 復習：今回の課題を、次回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度）	船倉 武夫
14	14	計算ソフトでのデータの入力・出力を学ぶ	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度） 復習：今回の課題を、次回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度）	船倉 武夫
15	15	計算ソフトでのデータの入力・出力を学ぶ	演習A (L)	予習：前回の課題を、今回が始まるまでに提出しておくこと。（120分程度） 復習：今回の課題を、指定日時までに提出しておくこと。（120分程度）	船倉 武夫